

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 25 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長 荻田 信幸	
健福-20	高齢者活動運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	高齢者の社会参加や生きがいを支援し、福祉の向上を図るため。
効果	高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・長寿のお祝いとして100歳以上及び節目の年齢を迎えた高齢者に対し、祝品を贈った。
- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない外国籍の高齢者に対する給付金は、対象者がいなかったため支給しなかった。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいを支援した。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	敬老祝事業	敬老祝品の贈呈	-	- / -	-	-	
				1,424 / 1,458	1,458	1,743	
02	外国籍高齢者福祉給付金事業	外国籍高齢者福祉給付金(実績なし)	-	- / -	-	-	
				0 / 120	120	120	
03	高齢者入浴助成事業	高齢者入浴助成事業委託	入浴助成券利用枚数(枚)	54,614 / 65,000	65,000	47,000	84.1%
				9,660 / 9,875	9,875	9,682	
04	高齢者生きがいをづくり事業	デイ銭湯事業委託、いきいきサークル事業委託	デイ銭湯参加者数(人)	612 / 1,080	1,080	915	56.7%
				4,772 / 5,093	5,093	4,163	
05	老人クラブ活動助成事業	運営費補助金	老人クラブ連合会の会員数(人)	2,874 / 3,356	3,356	3,386	85.7%
				3,735 / 4,119	4,119	3,594	
06	運転免許証返納者支援事業	運転免許証返納者支援事業負担金	助成券申請者数(人)	1,434 / 1,600	1,600	1,600	89.7%
				1,643 / 3,257	3,257	1,662	
07	福寿優待サービス事業	福寿カードの発行	協賛店舗数(店舗)	34 / 100	100	45	34.0%
				24 / 197	197	100	
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	1,528 / 1,783	1,783	1,665	
			地方債	/			
			その他特定財源	3,152 / 4,148	4,148	3,520	
			一般財源	16,578 / 18,188	18,188	15,879	
			事業費の合計(千円)	21,258 / 24,119	24,119	21,064	
			人件費(千円)		22,544	16,672	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	2.8	2.0			
会計年度任用職員	2.0	1.0	1.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	敬老祝事業	節目の年齢を迎える対象者の長寿を祝う目的で実施しており、指標の設定になじまないため。	高齢者の健康増進及び生きがいがづくりに関して、節目のお祝いを実施することが有効である。	寿命の延伸に伴い、対象者が増加傾向であるため、財源確保に課題がある。
02	外国籍高齢者福祉給付金事業	対象者に対する給付自体を目的としており、指標の設定になじまないため。	公的年金給付の要件を制度上満たせない外国籍の高齢者への給付金制度は、多様性のある福祉サービスにおいて必要である。	
03	高齢者入浴助成事業	コロナ禍において利用実績は目標を下回ったが、利用自体は回復傾向にあり、高齢者のニーズが一定割合あるといえる。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、入浴助成は一定の役割を果たしている。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段としてのニーズを適切に把握し、今後の実施方法等について検討していく必要がある。
04	高齢者生きがいがづくり事業	新規の参加者を増やすことが各銭湯における課題となっている。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、デイ銭湯事業は一定の役割を果たしている。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段としてのニーズを適切に把握し、今後の実施方法等について検討していく必要がある。
05	老人クラブ活動助成事業	会員の高齢化が進んでおり、新たな会員の獲得が課題となっている。	老人クラブの安定した運営に寄与することで、高齢者の社会参加を支援できている。	会員数が減少する中、会員の確保と活動の充実に向けた支援を行う必要がある。
06	運転免許証返納者支援事業	運転免許証の自主返納者のうち、約7割の方が申請しており、外出支援策として一定の成果を上げている。	免許証を返納した高齢者の外出支援の一環として、必要なサービスを提供できている。	外出支援策としての公平性及び有効性を検証しながら、事業の継続実施について検討する必要がある。
07	福寿優待サービス事業	コロナ禍において、思うように協賛店舗数拡大に向けた働きかけができなかった。	高齢者が外出するための動機付けになり、多様性のある福祉サービスの提供につながっている。	協賛店舗数の拡大に向けて、引き続き事業の周知に努め、サービスの拡充を図っていく。
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○・負担導入済
		○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△・協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>高齢者の社会参加や生きがいがづくりを支援することは健康維持や介護予防に有効であり、今後も継続して事業を実施する必要がある。高齢者生きがいがづくり事業のうち、いきいきサークル事業については他の事業に統合する一方、運転免許証返納者に対する支援事業などの外出支援に係る事業は拡充に向けて今後の在り方を検討していくため、事業規模は現状を維持していく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	入浴助成券利用枚数						単位	枚
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
入浴助成事業に対するニーズの把握と事業の推進状況の確認ができるため。	目標値		65,000	47,000				
	実績値	61,512	54,614					
	達成率		84.1%					

指標(単位)	デイ銭湯参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
デイ銭湯事業に対するニーズの把握と事業の推進状況の確認ができるため。	目標値		1,080	915				
	実績値	558	612					
	達成率		56.7%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	高齢者入浴助成事業実施状況						
団体名	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市		
他市実績	72枚(自己負担220円)	一人暮らし登録高齢者のみ	いきいき交流事業の一環	72枚(自己負担150円)	高齢者優待サービス事業の一環		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、公衆浴場入浴料の助成は有効であり、自己負担額も適正であると考えられるが、他市では複数あるサービスのひとつとして実施しているところもあることから、本事業の実施方法等について今後検討していく必要がある。
----------------------	---